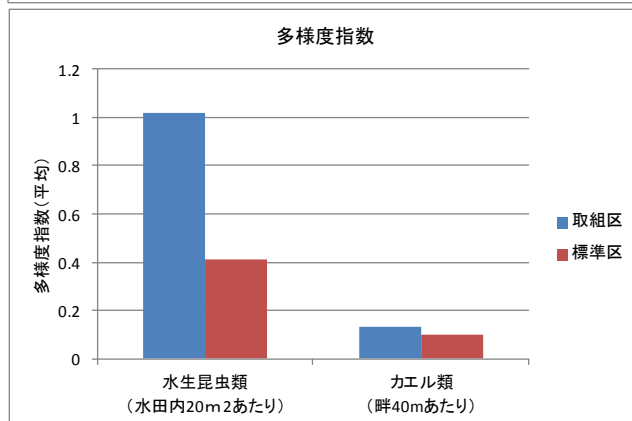
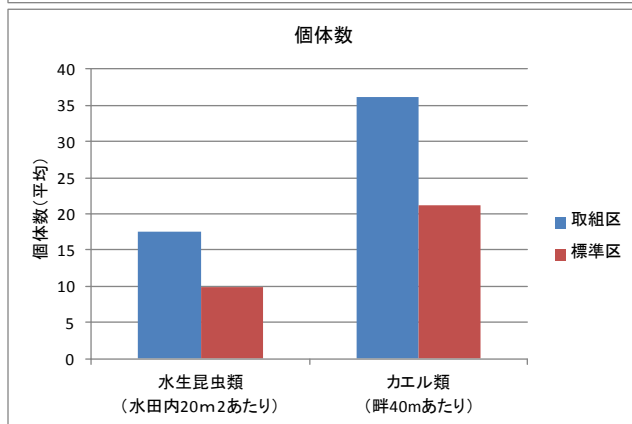
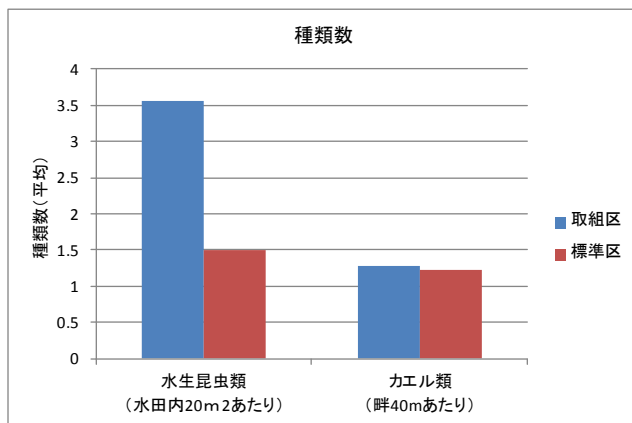


# 総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた 魚毒性の低い除草剤 1 回施用+畦畔機械除草 3 回以上

## 取組区と標準区の比較

| 調査地点数:18地点                     | 種類数 |     | 個体数  |      | 多様度指数※ |      |
|--------------------------------|-----|-----|------|------|--------|------|
|                                | 取組区 | 標準区 | 取組区  | 標準区  | 取組区    | 標準区  |
| 水生昆虫類(水田内20m <sup>2</sup> あたり) | 3.6 | 1.5 | 17.6 | 9.9  | 1.02   | 0.41 |
| カエル類(畔40mあたり)                  | 1.3 | 1.2 | 36.2 | 21.2 | 0.13   | 0.10 |

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



魚毒性 A の除草剤と畦畔機械除草 3 回以上の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類とカエル類の種類数及び個体数について、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。